

1 カリキュラム・ポリシー

- 文学部は、国語教育学科および英語教育学科の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、カリキュラム（教育課程）を編成しています。
- ① 各学科の基礎教育科目では、言語運用能力（日本語・英語）の修得および各学科の専門教育の基礎となる教養の修得を図る。
- ② 各学科の特質を活かした専門教育を重視し、主体的な学びを促し、それぞれの専門分野についての基本的知識・方法を身につけるために体系的な学科専門科目を編成する。
- ③ 教育現場での指導力育成のために理論と実践を組み合わせた学科専門科目や、論理的・批判的に思考し、それを表現する力を養うために、少人数グループの協働・参加型のより高度な学科専門科目を配置する。

2 カリキュラムの特徴

- 文学部では、人間がそもそも備えている本質とこれまでに人類が生み出してきたあらゆる文化について、多角的なアプローチを試み、深く掘り下げて追究しています。
- ① 高度な専門知識を修得するための科目から、少人数制による演習科目や実践的な科目まで、各段階に用意されています。また、コミュニケーション力や文章表現力、対話力に加え、論理的思考力や問題発見・解決能力といった、現代社会を生き抜くために欠かせない実践的な教育も重視しています。
- ② 物事を多面的にとらえながら自らの力で論理的に考え、表現する力をつける教育を重視しています。
- ③ 多様な文化を学ぶことにより、偏見を持たない「地球市民」を目指して、現代社会におけるさまざまな課題や環境問題などに幅広い視点からアプローチできるようになるための学修機会を重視しています。

3 警告制度

- 本学では、各セメスター終了時に、一人ひとりの学修状況の確認が行われます。これは全学部に通じるもので、p.37にある基準に満たない場合「警告」が出されます。
- この他に、学科が定める進捗チェックの時期と内容については、各学科のページに記載していますので、必ず参照してください。

4 卒業要件

文学部各学科の卒業要件は、学部で定めた学位授与の方針（p.60「ディプロマ・ポリシー」参照）とカリキュラム編成の方針に基づいて設定されています。詳細は各学科の該当ページを参照してください。